

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、  
花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし  
の碑（初代PTA会長盛合聡の揮毫）がある。

### 一日一生日々元旦

校長 兼 平 栄 補

一日一日を今日限りの命として真剣に生きる。その連続が充実した一生につながる、という意味でよく「一日一生」という言葉が用いられる。

キリスト教思想家の内村鑑三も「一日一生。一日は貴い一生である。これを空費してはならない。」と言っている。

私たち普通の人間は、一日を長い一生の一角かと思っ生きてる。一日を軽く見て暮らしている。その結果、この掛け替えのない一日を私たちは、無駄に過ごしている。何ともったいないことだろう。しかし今日という一日は掛け替えのないもので、二度と戻ってこない貴重な時間である。

日本資本主義の父と呼ばれる渋沢栄一は、毎日、寝る前に一日あったことを寢床の中で逐一思い起こし反芻すると言った。これは一日一生の精神そのもののように思える。毎日を一日一生と考えてこそその成果だ。だからこそ、渋沢翁は、第一銀行からはじまって信じられない数の企業群を立ち上げたのだと考えられる。

朝起きて、あれをしよう、これをしよう、スケジュールを立ててその日を精一杯頑張る、夜になって「ああ、いい一日だった」と満足して休む。そんな生活が続けばどんなにかすばらしい人生になるだろう。なかなかできないことではあるが、少しでも心掛け、実践したいものだ。

また、新しい年を迎える元旦は、普段の朝とは異なって格別な気分になる。

「よし、やるぞ!」と密かに心に誓う。毎朝を元旦のような気持ちで迎えたなら（これもなかなかできるものではないが）、どんな一年になるだろうか。

子どもの頃、親や先生から人生を前向きに進めと言われたけれど、風の強い日（不遇の日）は、立ち止まったり、後ろを向きながら

進んでもいいではないか、と考えたりもした。

ネット上に「舟を前に進めようと思ったら人間はうしろを向かねばならない」という言葉が紹介されている。

「ボートを漕ぐときには人間はうしろを向く。人間が未来に進んでいくというのはちょうどああいった状態だ」

確かに、ボートをまっすぐ前に進めるには後ろや両岸を基準にオールを漕がなければならないが、それを比喩的に「後ろ」は「過去」であり、「両岸」は自分の置かれている「環境」と言い換えることができる。目標を確認しながら、過去を遠くに見つめ、周りの距離を測って進んでいく。それが人生と言えるのではないだろうか。

若いときの一日はあっという間に過ぎるが一年は長い。しかし、年をとると一日は長いが一年はあっという間に過ぎていく。悔いのない人生を過ごしたいものだ。

惜しみても 歸らぬものは 日と月と  
心の流れと 人の命と（古歌）

### 2月行事予定



- ～3日(水)第4期定期試験(3年)
- 2日(火)勤労観・職業観育成講座(2年)  
2年生保護者進路説明会
- 4日(木)標準テスト(F2)
- 5日(金)標準テスト(E1、M2、E2)  
三級技能検定試験(建築配管)
- 6日(土)三級技能検定(電気機器組立)
- 10日(水)～16日(火)  
第4期定期試験(1・2年)
- 13日(土)宮古地区高校生研究・意見発表会
- 19日(金)3年出校日、大掃除
- 22日(月)進路ガイダンス(2年)
- 24日(水)進路ガイダンス(1年)  
マナーアップ講座(2年)
- 26日(金)卒業式予行・同窓会入会式

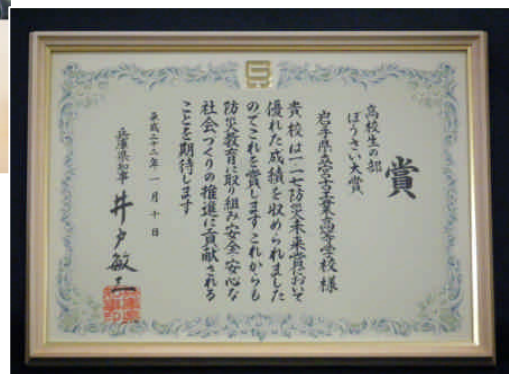
# ぼうさい甲子園表彰式 報告

1月10日に、神戸市の兵庫県公館で行われた「ぼうさい甲子園」の表彰式に、機械科3年の川村将崇君と大棒雄司君が出席し、兵庫県知事から「ぼうさい大賞」の賞状と盾をいただきました。また、これまでの取り組みについての発表も行いました。

学校でも表彰式を行い、校長先生から二人に改めて賞状と盾が手渡されました。この様子は、テレビや新聞でも大きく取り上げられました。



発表する川村将崇君



校門横に設置した横断幕



## 建築CAD検定 講習会実施

1月20日(水)と21日(木)の2日間、建築設備科2年を対象に「建築CAD検定試験受験準備講習会」が建築設備科実習室で行われました。

この講習会は、岩手県建設業協会と岩手県土木施工管理技士会が、CAD検定試験の合格率を高めるとともに、入職時のスムーズな活躍を可能ともし、もって若年者の入職促進・定着を図ることを目的に開催したものです。講師は、ポリテクセンター岩手の森本愛美さんが務めてくださいました。

6時間の講習で、CADのスキルアップが図られたと思います。主催者と講師の先生に感謝です。



## 学校評価について

12月に、保護者・生徒の皆さんによる学校評価アンケートと、職員による自己評価を実施しました。学校では今、この評価結果を下に今年度の反省を行い、本校の課題を見つけ、次年度の教育計画に生かすための取組みを進めているところです。また、職員一人ひとりが改善すべきところ正すべきところがあるわけで、地域から信頼される学校を目指し、決意を新たに頑張ろうとしています。

学校評価の結果は、2月中にお渡しする予定です。ご協力いただいた保護者・生徒の皆さん、ありがとうございました。